

## 平成30年度 第44回大分県中学校新人剣道大会要項

- 1 主催 大分県中学校体育連盟 大分県教育委員会  
(一財)大分県剣道連盟
- 2 後援 公益財団法人大分県体育協会  
大分合同新聞社・NHK大分放送局・OBS大分放送・TOSテレビ大分・OAB大分朝日放送
- 3 期日 平成30年10月13日(土) 男女団体戦 競技開始10時00分～  
14日(日) 個人フレッシュの部・男女個人戦 競技開始9時50分～  
(屋外にて検量開始7:45 開場8:30 監督会議8:45 審判会議9:00 開会式9:30)
- 4 会場 大分県立総合体育館 ☎097-551-1511
- 5 参加資格 (1) 参加生徒は、学校教育法に基づく当該中学校生徒であり、1・2年生チームであること。  
(2) 団体チームは単一校チームで、当該校長が参加を認めた者。  
個人は、郡市予選を勝ち抜いた選手で当該校長が参加を認めた者。(県総体枠×2名以内)  
(3) 個人フレッシュの部については、今年度以降剣道を始めた者とし、郡市予選に参加した選手で当該校長が参加を認めた者。(出場資格は各位郡市の規定による)
- 6 参加制限 (1) チーム編成は、男女とも監督1名、コーチ1名、選手5名、補員2名以内とする。  
(2) 監督は、当該校の校長・教職員または部活動指導員とする。  
(3) コーチとして、県中体連登録済の外部指導者(外部コーチ)の選手席入りを認める。  
ただし、各校男子に1名、女子に1名までとする。(選手席は監督、コーチの2名以内)
- 7 参加料 団体戦は1チーム4,000円、個人戦は1人500円とし、試合当日に、受付で学校単位で支払うこと。
- 8 競技方法 (1) 団体戦・個人戦ともトーナメント方式で行う。  
(2) 団体戦の試合時間は3分とし、勝敗の決しない場合は引き分けとする。  
準々決勝からは、延長2分を1回行う。(ただし、チームの勝敗が決するまで)  
(3) 両チームの成績がすべて同じ場合は、最終試合者の中の任意のポジション1名による代表戦を行う。試合は、時間を区切らず1本勝負とし、勝敗が決するまで行う。  
(4) 個人戦は、3回戦までは2分30秒3本勝負、勝敗が決しない場合は、時間を区切らず勝敗が決するまで行う。4回戦からは、3分3本勝負で行う。  
(5) フレッシュの部は、試合時間は2分3本勝負、勝敗が決しない場合は延長1分の後、判定を行う。準決勝からは延長を区切らず勝負が決するまで行う。  
個人戦フレッシュの部の判定については以下のとおりとする。  
(Ⅰ) 有効打突は、剣道を始めておよそ半年経過であることを鑑みた判定とする。  
(Ⅱ) 延長後の判定については、①有効打突により近い打突の有無 ②技の積極性  
③試合態度(発声、姿勢、礼法等)の順で勝っている者を勝ちとする。
- 9 競技規則 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則並びに細則、および中体連剣道申し合わせ事項に準ずる。
- 10 組み合わせ 大会総務委員会において抽選決定する。  
ただし、可能な限り一回戦において同一郡市が対戦しないように配慮する。

- 11 表 彰 (1) 団体戦優勝校に優勝旗・賞状、2位、3位に賞状を授与する。  
(2) 個人戦・フレッシュの部は1～3位に賞状を授与する。フレッシュの部には盾も授与する。  
(3) 大分合同新聞社賞を授与する。

- 12 申し込み (1) 申込期限 **9月21日(金) 正午 必着**  
(2) 申込用紙は一般財団法人大分県剣道連盟 HP からダウンロード入手し、期限内に申し込む。  
ア、申込用紙に必要事項を記入し、1部印刷・捺印して、①へ郵送する。  
イ、承認を得た申込書の電子データは、下記②に送信する。(印不要)  
郡市剣道部長は、**郡市の個人戦 県大会出場人数**を下記③に送信すること。**21日(金) 着。**  
個人戦申し込み用紙は、各郡市剣道部長が、郡市大会終了後すぐにFAX及びデータ送信  
(下記③へ)をし、即日投函で①へ郵送のこと。  
(3) 期限を過ぎた場合は、いかなる場合でも受け付けない。

<申し込み先>	
①〒870-1123	大分市大字寒田1369-1
	大分市立 植田東中学校 岸本 博司 宛
TEL	097-568-2932
FAX	097-568-2669
②データ送信先	tamai-teppej@oen.ed.jp (大東中)
③データ送信先	ouchi-masakatsu@oen.ed.jp (戸次中)

- 13 傷害処置 参加選手並びに監督は、スポーツ保険に加入すること。(学校の部活動に入っていない選手)
- 14 その他 (1) 竹刀の検量は2日間とも実施するが、2日とも参加する選手は1日目の検量のみで良い。  
(2) 面の乳皮は、黒または紺色とする。また、竹刀の柄皮の滑り止めは禁止とする。  
(3) 審判は、剣道連盟審判員・高校教諭・中学教諭が行う。  
(4) 足袋・テーピング・サポーターは、医療上必要な場合は規定に準じて認める。  
(5) 試合会場には、剣道具・竹刀・目印以外持ち込まないこと。  
(6) 1Fフロアーには、監督・コーチ(中体連登録外部コーチ含む)・選手・役員・審判以外の立ち入りを禁止する。監督・コーチはIDカードをつけること。  
(7) 観戦・応援マナーについては、生徒や保護者に事前指導を徹底すること。  
(8) 駐車場や体育館では、係員の指示に従うこと。  
(9) ゴミはすべて持ち帰ること。  
(10) 大会参加にあたっては、学校・郡市代表選手としてふさわしい服装、身なり、行動を心がける。状況(染髪・眉剃り・装身具等)に応じては大会参加を認めない。